

(仮称) 共通プラットフォームの構築によるMaaSビジネススキーム構築プロジェクト (愛知県 春日井市)

自家用車中心中規模都市

【春日井市、名古屋大学、KDDI総合研究所、UR都市機構、名鉄バス、市内タクシー組合、高蔵寺まちづくり等】

◆地域の課題

- 大規模な住宅団地の住民が一斉に高齢期を迎え、敷地内の斜面地での移動や、運転免許返納後の移動手段に問題を抱えている
- バスの運行本数や区域内タクシー事業者の減少など公共交通サービス衰退が懸念

- 複数移動手段活用時の利便性
- 公共交通・道路の混雑
- ☑ ラストマイルの移動手段不足
- ☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 自動運転車両、パーソナルモビリティ、バス・タクシー等既存公共交通機関、住民共助型システムによる移動支援など、新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスによる「高蔵寺ニューモビリティタウン」を目指す

◆実証実験の概要

- ①限定区域内ラストマイル自動運転：公共施設の敷地内にて自動運転レベル3で運行
- ②モビリティスポット（地域拠点）から発進するユニバーサルタクシー（ドライバーは自動運転車両からの乗り換えや荷物運びなどの補助）
- ③バス専用レーンの整備等基幹交通の自動運転化検討
- ④名古屋大学が提案する「交通社会ダイナミックマップ」の活用によるスマートプランニング

- | | |
|---|---|
| ☐ カーシェア | ☐ 貨客混載 |
| ☒ デマンド交通 | ☐ ラストマイル配送無人化 |
| ☒ マルチモーダルサービス | ☐ 移動サービスと周辺サービスの連携 |
| ☒ 自動走行車の活用 | ☐ その他（） |

METI「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理」より引用

◆対象地域

- 名古屋市中心部から20km圏内の大規模郊外住宅団地である高蔵寺ニュータウンが対象。

◆サービスモデル

- 公共施設敷地内に自動運転車両のモビリティベースを整備。ファースト/ラストワンマイルを移動するサービスを展開して外出促進、健康寿命向上が期待される。ランニングコストについてはボランティア輸送・町内会会員制・地元事業者による一部負担などを実証実験を通じて協議。

